

(一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り



「け や き」 No. 23

令和4年6月15日発行

最近の活動と参加人数

- 2020年3月12日 「桃の会」 国際ホテル レストラン・ロジェドール (13名)
4月29日 「支部総会」「2021年度国内奨学生の研究紹介」
エル・パーク仙台 セミナー室 (11名)
5月21-22日 「第11回定時会員総会」 岡山 (仙台支部から1名)

本号の内容

- ごあいさつ 支部長・F.A. / 新役員・M.U.
レポート “桃の会” 開かれる (R.W.)
レポート 2021年度国内奨学生の研究紹介@支部総会《航空宇宙研究の今日》(M.U.)
レポート 第11回定時会員総会に参加して (F.A.)
お知らせ 第42回(2022年)猿橋賞に関口仁子会員 (C.A.)
お知らせ チャイルド・ファンド・ジャパン (S.M.・Y.M.)
お知らせ facebookとホームページについて (C.A.)
会員の近況報告
今後の予定 「交流会」と「公開講座」

2022年度 支部長あいさつ

F.A.

ひき続き今年度より2年間、支部長をさせていただくことになりました。この2年間、支部総会は書面やオンライン、役員会もオンラインで行ってまいりました。昨年の秋によくエル・パークで対面の役員会を行い、今年の3月には国際ホテルで「桃の会」を行い、2年ぶりに顔を合わせて楽しい時間を過ごすことができました。

今年度は、コロナの感染状況を見ながら、対面の行事を行っていきたいと思っております。6月の交流会「私と藤崎」、秋に予定しています公開講演会「北欧のミステリーから見るジェンダーの問題」に是非ご参加ください。また何かアイデアなどがございましたら、是非お寄せください。

気候変動、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻など、予測のつかない不安な世の中となっております。女性の柔軟な力が、何か少しでも世の中のお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新役員あいさつ

M.U.

本年度の支部総会でご承認をいただき、書記の仕事を担当させていただく事になりました。もうお一人の書記のC.A.様に色々と教えていただきながら務めて参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

” 桃の会” 開かれる

R. W.

2022年3月12日（土） 12時より

於 仙台国際ホテル レストラン「ロジェドール」 出席13名

会員の皆様は日頃の行いが宜しいんだな～と行きのバスの中で思いました。今年の冬は雪が多く春になっても寒さが身に染みたのは私ばかりではないと思いますが、この日は春うららの恵まれた一日でした。

今年度はじめての対面での交流会で、美味しいお料理をいただきながら久々に歓談でき、会場は桃の花がほころんだように皆様もほころんで、なごやかな会となりました。

役員他4名のご出席で、M.H.さんとは初顔合わせでしたので自己紹介をしていただき、M.U.さん、K.O.さん、I.M.さんからは近況報告をしていただき、その中でM.U.さんがこの日還暦のお誕生日と分かり、デザートケーキにHappy Birthdayの文字が添えられました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、またお食事会したいわねと声があがり、明るい気持ちで閉会となりました。



2月11日に企画していた「新年会」はコロナの影響でお流れとなりましたが、1か月後のこの日は久しぶりに集まることができ、嬉しい笑顔。

この日がお誕生日だった M.U. さん（写真右）にはすてきなバースデープレートが。役員の気転とレストランの素早い対応に感動。



2021 年度国内奨学生の研究紹介@支部総会 《航空宇宙研究の今日》 笠井美玖さん

M. U.

4月29日、エル・パーク仙台セミナー室にて開催された支部総会の第Ⅱ部は、2021年度国内奨学生の笠井美玖さん（東北大学大学院 工学系研究科 博士課程後期2年）による研究紹介が行われました。演題は『航空宇宙研究の今日』。

10:30 開会の総会第Ⅰ部では、2021年度事業報告や収支決算報告等と共に2022年度事業計画案の提案等が行われ、参加者11名は、資料に目を通しながらやや畏まった雰囲気の中で年度初めの総会に臨んでいました。そして無事閉会となり、少しの休憩を挟んで迎えた第Ⅱ部の発表者は、可愛い女子大生。さて『航空宇宙研究』とはどんな内容なのかしらとワクワクし、笠井さんの笑顔を見ながら第Ⅰ部よりリラックスした気分で臨みました。

が、発表が始まってすぐにそんな気分は吹き飛びました。スクリーンに次々と映し出される笠井さんの研究発表の内容は、私の頭では全く理解出来ず、張りのある元気な声でスピーディーに解説される笠井さんの姿は次第に教壇に立つ先生に思えてきて、楽に座っていた姿勢の背筋もピンと伸び、完全に授業態勢になりました。

でもきっといつも大勢の前で発表を行っている笠井さんは、11名だけのご婦人向けの発表だからといって、敢えて発表内容や説明の仕方を普段と変えずに行って下さったと思いました。だからこそ「今、とても貴重な体験をさせていただいている」と感じる事ができ、この笠井さんの研究が、未来の航空宇宙に関する様々な分野の発展に活かされていくのであらうと思うと、その発表をご本人から直接聞かせていただいているという事が嬉しく思えました。そして何よりも、この研究をされている笠井さんがとても生き生きとして楽しそうで、私まで嬉しくなってきました。笠井さんのような学生さんに奨学金が授与されて本当に良かったと思いました。

発表後に笠井さんへの質疑応答があり、研究の今後の展開や女性研究者の就職、待遇等について、色々と知られていない分野の事をここでも明るく元気に答えて下さいました。私からも質問をさせて頂き、「このような未来宇宙の研究に没頭するような凄い女の子は、いったいどのようなご両親様から誕生したのかしら？」という思いを素直にお尋ねしてみました。すると、お父様がセラミックの研究をされていた方というお答えが返って来て、「なるほど～それはお父様も研究者としてのご自分の血を受け継いで成長しているお子様を持って、本当にお幸せね」と深く納得して頷いておりましたら、更に、笠井美玖さんのお名前はセラミックから『美玖』、お兄様はセラミックの『セラ』（漢字お尋ねせず）というお名前であるという事も伺い、「なんて素敵なお家族なのかしら！」と微笑ましく思いました。第Ⅱ部は楽しい研究紹介のひと時となりました。



奨学生の笠井さんは、小柄な身体で体力勝負の実験をバリバリこなす、元気でとても頼もしい女性でした。

第 11 回定時会員総会に参加して

F. A.

5月21日、22日、岡山市で行われた全国総会に出席いたしました。2020年よりコロナ禍に入り、3年ぶりの対面での総会、みな心より喜び合いました。

支部長会、懇親会の会場は岡山駅のすぐ向かいにあるANAクラウンプラザホテル岡山で行われました。支部長会には全国から19支部が出席いたしました。懇親会は、岡山県知事、岡山市長の祝辞をいただき、開宴。岡山産の食材を取り入れたメニューを美味しく楽しませていただきました。

次の日の定時総会はホテルより徒歩3分ほどの岡山国際交流センターの国際会議場で行われました。85人出席、委任状247人、合計332人で総会は成立し、すべての議案が承認されました。午後の講演会の講師は、現在大変なご活躍の歴史学者の磯田道史氏。岡山支部に磯田氏の中学校時代の恩師の会員がいらっしゃり、講演を依頼できたとのことです。次から次へと興味深い歴史のお話をされ、あっという間に90分経ってしまいました。講演依頼があまりにも多いため岡山では講演をしないことにしているとのこと、幸運でした。その後、拡大ワークショップが行なわれ、この協会の強み・魅力、外部へどのようにアピールしたら良いかをグループに分かれて話し合い、発表し合いました。「会の活動を続けるためにも会員拡大をがんばろう」と確認し合い、総会が終わりました。

本部や各支部のお元気で活発な皆様とご一緒し、本当に楽しく有意義な2日間でした。岡山支部の温かいおもてなしに感謝です。総会の前後には、倉敷の大原美術館、岡山後楽園を訪れることも出来ました。久しぶりの小旅行、ハードなスケジュールで体は疲れましたが、それ以上に心がリフレッシュされて帰途につきました。



会場の岡山国際交流センターは、JR岡山駅からも徒歩3分の便利な立地。3年ぶりに85名の会員が集まった。

第 42 回（2022 年）猿橋賞に関口仁子会員

C. A.

「猿橋賞」は、自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者に毎年贈られる賞です。猿橋勝子博士が退官記念事業の一環として設立した「女性科学者に明るい未来をの会」（1980 年創立）から授与されます。既にメディアの報道でご存じの方も多いと思いますが、今年度は会員の関口仁子さんに贈られることになりました。おめでとうございます。評価された業績は「原子核物理学における三体核力の実験的研究」です。財団のホームページでは 5 月 29 日に学士会館で開催された授賞式の写真も閲覧できます。

<https://saruhashisho.wordpress.com/>

チャイルド・ファンド・ジャパン

担当・S.M. / 文・Y.M.

仙台支部では、チャイルド・ファンド・ジャパンを通して、毎年フィリピンの女子に奨学金を送っています。新しい会員の方もいらっしゃるので、この奨学金の経緯を少し書かせていただきます。

私が子供の頃、母が教会のメンバーとチャイルド・ファンド・ジャパンの前身である里親運動に参加していました。その架け橋となったのは、その教会のお嬢さんがフィリピン留学中（マザーテレサの元）に、現地の方を助けて亡くなられたことでした。その活動は、かなり長い間続いていたようです。

大学女性協会の全国総会が秋田市で開催された際、私たちは参加しました。その時に金沢支部が、インドの女子に奨学金を送っていることを知りました。それで、国際奨学金活動を仙台支部にて提案させていただきました。その後、皆様の賛同を得て現在に至っております。

最近では、大学女性協会の元会長の鷺見八重子様が、チャイルド・ファンド・ジャパンの理事をなさっていることがわかり、改めてこの活動の意義も感じております。



在宅学習の様子



お手伝いの様子

仙台支部が支援しているアナリン・バコイさん（13 歳）。ご家庭では皿洗いを担当、ロックダウンの間は音楽を楽しんでいたそうです。

facebook とホームページについて

C. A.

コロナ禍で対面での活動が困難になったことを契機に、仙台支部では facebook の利用を始めました。「大学女性協会仙台支部」という名前のグループで、メンバー以外は書き込みや閲覧はできません。メンバーは現在 13 名です。気楽な雑談ができる場として開設しましたので支部の活動と直接関係ない内容でも、どうぞ自由に書き込んでください。パソコン、タブレット、スマートフォンがあれば利用できます。グループへの登録が必要なため、使い方が分からない方は C. A.（書記・連絡先は会報の最後に掲載）までご相談ください。

また、大学女性協会本部のホームページには全国の支部の活動が紹介されており、仙台支部も「けやき」の最新号を掲載する予定です。（掲載にあたっては、個人が特定できないよう、氏名をイニシャルにする、写真の解像度を下げる・または削除する等の加工をいたします。）「JAUW 仙台」で検索すると表示されます。毎月 15 日に更新されるそうなので、こちらもどうぞご覧ください。

会員の近況報告

交流会の返信はがきに書いていただいたコメントをご紹介します。

（6/14 までの到着分で、「掲載を許可する」に○をつけてくださったもののみ。）

K. K. 10 年前に埼玉の入間市に避難したまま居ついてしまいましたが、今も国分町にシルク専門店があります。埼玉と東京の百貨店でシルク催事を展開しており、なかなか会合に出席できず残念です。SDGs への取り組みの中でシルクが見直されている今、お伝えする事に頑張っています。今年こそは、お目にかかりたいです。

A. S. 療養中の家族の世話に追われる毎日ですが、庭に花を植える時間と気持ちを持てるようになりました。少しずつですが前向きになっています。

S. M. 一人では参加できないので、今回は娘の都合のため残念です。

◆ 今後の予定 ◆

○ 6 月 22 日（水）交流会「私と藤崎」話題提供：K. U. 会員

○ 秋（9 月ごろ）公開講演会「北欧のミステリーから見るジェンダーの問題」講師：中屋紀子会員
そのほか、新型コロナの感染状況を見ながら美術観賞会等の催しを開催する予定です。

◆記事に関する問い合わせはこちらまで◆



仙台支部便り「けやき」No.23

2022 年 6 月 15 日 発行

発行 （一社）大学女性協会仙台支部